

抗がん剤治療を受ける患者さん・ご家族の方へ（日常生活上の注意）



抗がん剤はがんに対する効果がある反面、健康を害する恐れがあり、不用意な接触はなるべく避けた方が良いと考えられています。そして抗がん剤治療中の患者さんの排泄物や体液には、抗がん剤が微量に残っている可能性があるため、取り扱いに注意をする必要があります。ご家族が介助する場合は、手袋とマスクを着用して行うようにしてください。

実際に触った場合、皮膚が赤くなったりするかもしれませんが、実際のところはほとんど影響はないと考えられています。

抗がん剤治療をする患者さんが、特別に危険というわけではありません。少し注意が必要ということです。

注意が必要な期間は薬剤によっても異なりますが、当院では抗がん剤治療中は継続して注意をするように考えています。

【嘔吐物、排泄物、汗が皮膚に付いたら】

- 嘔吐物や排泄物や汗には抗がん剤が微量に残っている可能性があるため 皮膚に付着した部分をすぐに流水と石けんできれいに洗ってください。
- 付着した部分の皮膚に異常が現れたら、医師または看護師にすぐに

【洗濯物の取り扱い】

- 排泄物等による明らかな汚染がなければ、ご家族の洗濯物と分ける必要はありません。
- 排泄物や嘔吐物などで汚れがあれば、手袋を着用して石けんで汚れを手洗いしてから、ご家族の洗濯物と一緒に洗濯をしてください。



日常生活上の注意



【自宅での抗がん剤治療中の注意点】

- 自宅で持続注入の点滴による抗がん剤治療を受けられる方は、点滴チューブやポンプ、注射器などはすべて医療廃棄物になります。専用の容器に入れて、病院まで持参してください。
- 内服薬の抗がん剤は患者さんが自分で内服するようにしてください。患者さんが手のしびれなどがあって自分で飲めない時は、ご家族に手伝ってもらいますが、ご家族は手袋とマスクを着用してください。
- 抗がん剤が皮膚に付着した場合や、抗がん剤が目に入った場合、すぐに石けんと流水でしっかり洗い流してください。皮膚や目に異常が現れた場合は、病院へ連絡してください。

【その他】

- 乳幼児やペットがいるご家庭では、内服の抗がん剤や、抗がん剤で汚染されたものが誤って口に入らないように、特に注意して下さい。



ご不明な点やお聞きになりたいことがありましたら、
医師、看護師、薬剤師にお尋ねください。

抗がん剤治療を受ける患者さん・ご家族の方へ（排泄時の注意）



【排泄時の注意】

- 男性は排尿時立ったままですると尿が飛び散り、トイレ周囲が汚染するため、できるだけ洋式トイレで、便座に座って排尿することで尿の飛び散りを防ぐことができます。
- 使用後はトイレの蓋を閉めてから、流して下さい。通常の水洗トイレなら水量、水圧が十分にあるので1回流せば大丈夫です。
- 尿がこぼれた場合、患者さんご自身がトイレトーパーできれいにふき取って、トイレに流して下さい。
- 排泄後は、流水と石けんでしっかり手洗いをしてください。



排泄時の注意

【オムツ着用の場合】

- ご家族が尿や便を触る場合は、マスクと手袋を着用して、直接素手で触れることがないようにしましょう。
- 汚れた場合、早めに取り換えるようにしましょう。患者さんの排泄物には抗がん剤が残っている可能性があるため、その都度石けんを使ってきれいに洗い流した方がよいです。おしりふきでふき取るようにしてもかまいませんが1日に1回程度は石けんを使ってきれいにしましょう。
- 汚れたオムツとおしりふきは、2重にしたビニール袋と一緒にに入れて、口を密閉してから、ゴミとして廃棄してください。家庭では通常の可燃ごみとして扱ってください。

【その他】

- ストマがある患者さんの場合、パウチの内容除去をした後はすぐに石けんと流水でしっかり洗い流してください。使用後のストマ用具は、2重にしたビニール袋に入れて、口を密閉してから、ゴミとして廃棄してください。家庭では通常の可燃ゴミとして扱ってください。ご家族が行う場合は、マスクと手袋を着用して、直接素手に触れることがないようにしましょう。

ご不明な点やお聞きになりたいことがありましたら、
医師、看護師、薬剤師にお尋ねください。